

平成29年度事業報告書

はじめに

国においては、一億総活躍プランに基づき高齢者が安心して働き続けられる環境を作り、地域の実情に応じた高齢者の社会参加を促進する制度が進められておりますが、地方においては、未だに厳しい状況が続いております。

公益社団法人として6年目を迎えた当センターも地域社会から信頼されるセンターを目指し、会員、役職員が一体となり事業の推進・会員拡大に向けて努めてまいりました。

事業概況においては、正会員数が472名で3名（0.7%）の減、受託事業配分金が、1億7650万円で447万円（2.5%）の減、派遣事業収益が20万円で4万円の減でありました。29年度より開始された、新総合事業においては、76万円の収益でありました。

次に基本方針に基づく実施事項について、報告いたします。

1. 就業開拓提供事業の推進

公共・企業・家庭等を訪問し、就業機会の拡大に努め、発注者との信頼関係を深めるよう努めてまいりました。

2. 普及啓発事業の推進

会員拡大に向け、入会案内のポスターの掲示、名入れタオル等を訪問時に配布し、地域に根ざした活動を行い、入会説明会を通して、新たな会員確保に努めてまいりました。

3. 安全適正就業事業の推進

会員が安心安全な体制で就業できるよう、巡回指導や器具の点検・修理を行い、安全第一に努めてまいりました。
また、安全就業講話会を通して、高齢者の交通事故防止の安全意識向上に努めてまいりました。

4. 高齢者活用現役世代サポート事業の推進

会員拡大・就業機会の拡大を図り、シルバー派遣事業の取り組みを充実させる為、民間・公共等を訪問し、その推進を進めてまいりましたが、思うような成果が得られませんでした。